

平成24年度予算 新規・充実事業一覧

(単位：千円)

教育委員会予算要求の内容			
事業名	事業概要	要求額	所管課 電話番号
小・中学校体育館の防災機能強化等に向けたリニューアル事業	東日本大震災発生後、防災への関心が一層高まり、防災拠点の機能強化が求められる現在、災害発生時に地域住民等の緊急避難施設として活用されるなど、学校のみならず地域にとっても重要な役割を果たす学校体育館について、耐震性の向上や避難施設としての機能強化に向け、外断熱や蓄電池付太陽光発電、雨水利用等を備えた「環境にも配慮した防災機能強化型学校体育館」として、毎年度5校程度の全面改修(リニューアル)を推進する。 【25年度に改修する4校分の総事業費：8.7億円】	21,000	総務部 教育環境整備室 222-3796
小・中・総合支援学校及び幼稚園への校務支援システム導入	学校の事務効率化については、財務会計・庶務事務システム等の構築により成果を挙げてきたが、さらに全小・中・総合支援学校及び幼稚園に校務支援システムを導入し、これまで各校で異なっていた校務事務の標準化・効率化・情報の共有化を進めることで、全市立学校・校種間の連携を図り、教員同士が相互に授業展開等を吟味しあう機会や教員が子どもたちと向き合う時間を増加させるとともに、マネジメント力のある学校経営の確立を目指す。 【25年度以降の事業費：3.2億円/年】	26,400	指導部 学校指導課 222-3806 指導部 情報化推進総合センター 841-3505
京(みやこ)まなびプログラム推進事業(仮称)	全国学力・学習状況調査(小学校6年生・中学校3年生対象)や京都市学習支援プログラム(小学校3年生～中学校3年生対象)の結果等を把握・分析し、その内容・課題を共有して、全中学校ブロックで展開されている小中一貫教育をより充実させるなど、義務教育9年間を通した確かな学力の育成に向けた取組をより一層推進する。	61,700	指導部 学校指導課 222-3806
スクールカウンセラーの全小学校・総合支援学校への配置	中学校及び高等学校への全校配置が完了しているスクールカウンセラーについて、子ども・家庭が抱える課題の早期発見、早期対応や予防的な取組の推進により、小学校から中学校にかけて増加する思春期以降のつまづきや問題行動等を未然に防止するとともに、健全な成長や社会性の育成を促すよう、小学校においても計画的な配置拡大により全校配置を目指す。 また、総合支援学校においても、子どもの障害のみならず心理的な課題に配慮したきめ細かな指導の必要性が増していることから、教育相談体制の充実を図るため、全校に配置する。	17,400	指導部 生徒指導課 213-5622
教育委員会 合計		126,500	